

帯広畜産大学同窓会報

第17号 平成22年11月 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学内 帯広畜産大学 同窓会事務局発行

母校で初めての同窓会 ジングスカンパティー開催す!!

同窓会事務局長

辻 修

(昭和53年工学)

帯広畜産大学は来年創立70周年を迎え、本同窓会としても「同窓会館の建設」を記念事業として位置付け同窓生の皆様に募金協力をお願いするとともに、同窓会活動の活性化を目的として、支部総会への出席、支部設立のお手伝い等に積極的に取り組んでいるところです。その一環として、隔年で開かれる総会後の懇親会は別として、毎年、夏の良い季節に畜大カラーのジングスカンパティーを開くことにより、全国の帯広畜産大学同窓生の集える時間と場所を提供し、同窓会のより一層の発展を願おうと大きな希望のもとに初めての母校でのジングスカンパティーを開催いたしました。

準備不足にもかかわらず、2010年8月7日、畜大生協前の広場において旧教員の鶴賀先生（数学）、有賀先生（昭和31年酪農）、三上先生（昭和40年酪農）、そして数多くの同窓生、一方、大学からは長澤学長（昭和53年獣医）をはじめ吉田（法学）、金山（農業経済）両理事と大学のトップである御三方を含め総勢34名で、旧交そして年代の差を超えた交流を図りました。会には、社会の一線で活躍する多くの同窓生に参加いただきましたが、中でも公務の途中に時間を割いていただき

参加された隣町・音更町長寺山さん（昭和49年化学）など、当会の人脈の深さを改めて知る機会となりました。

会は太田会長（昭和32年総農）・長澤学長の挨拶から始まり、途中の自己紹介を経て最後には学生時代に帰り参加者全員が肩を組み輪になっての逍遙歌の熱唱、そして同窓会が大学60周年事業として取り組んだ「逍遙歌歌碑」の前での記念写真の後、来年の再会を誓ってお開きとなりました。

この会は、今年が第1回目であり、来年以降も継続して行う予定ですので、全国の同窓生の皆様におかれましても、十勝の青空のもと、青春時代にタイムスリップし、ジングスカンを頬張りつつビール片手に至極の時間を過ごしませんか。来年の予定は未定ではありますが、8月第1週目の土曜日を予定しています。

なお、開催1か月前には、同窓会ホームページにてお知らせする予定としておりますので、ふるってご参加のほどをよろしくお願いいたします。また、各クラス・同期会の開催にこの懇親会を利用していただければ、より一層の輪も広がりますので、クラス・同期



会を計画されている皆様におかれましても、気軽に同窓会事務局にご相談いただければ幸いです。



60周年記念事業「逍遙歌歌碑」の前にて記念撮影（2010/8/7）

70周年記念事業「(仮称)同窓会館」の名称を募集しています

詳しくは、本文5ページ参照

帯広畜産大学 創立70周年記念事業に むけて

同窓会会長

太田 助

(昭和32年総農)



今年の十勝は、春先、しばしば雨に降られ、その上低温で心配しましたが6月以降は記録的な高温が続き、帯広測候所では農耕期（4～9月）の日平均気温の累計である「積算温度」が統計開始から最高の2,886℃、平年の約200℃も超える記録となりました。

総じて暑い夏が続き、秋の収穫作業も比較的順調に進みました。収量・品質は、低温多雨から高温多雨の天候に左右され、作物毎に質・量に格差のある結果となったようです。

従って、経済の実入りは、今後の景気や販売価格動向などと諸々の農業施策により変わりますが、「食料基地十勝」の面目を保って欲しいと願っています。

さて、母校帯広畜産大学は国内唯一の国立大学法人・獣医畜産の単科大学として規模は小さいのですが、教育・研究・社会貢献・国際貢献の各面で他大学や地域高校・更には関係企業と提携・協定して実質的・実践的に貢献していることが、国の第三者委員会の高い評価を得ています。

そのような中で、大学のキャンパスには計画的に研究施設・教育施設・社会連携施設、学生の自主的学びの施設・寄宿舎施設などが、近年の学長・教員・管理部門関係者一体となった努力で、素晴らしい進展を見せております。

ところが、これまでに、皆様からは、「母校を訪問しても、学問・研究・教育・学生生活等々の建物は立派に新しくなっているものの、我々卒業生の立ち寄る場所もないし、寸時の休憩所もなく、当時・往時の研究室や先生方の動向を尋ねる所もない。何とかならないか。」といったご意見を数多くいただいております。

そこで創立70周年を機に、同窓の皆様のご意見にお応えし、実現へのご協力をいただいて、親しみを持ってお立ち寄りいただける『場』を作りたいと考え、同窓会役員会は、大学（学長・理事・事務局長）とも話し合い、共にその必要性を認識し、充分ご理解をいただいて、「同窓会館の建設」を推進することにしました。

最初の呼び掛けに応じて 既に募金をお寄せいただいた方々には、この誌上を借りて深く感謝し、厚くお礼申し上げます。

しかし、現実の募金額は目標額の3割弱とまだまだ少ないのが現状です。重ねて「同窓会館建設募金」をお願い申し上げます。

全国および外国の同窓生の皆様には、気候の変わり

目の温度・湿度の高低変化に充分気を付けられ、健康管理にご留意下さいまして、平成23年10月8日の記念式典当日には多くの皆様のご参加をお願い申し上げ、お持ち申し上げております。

「新成長戦略」

学長

長澤 秀行

(昭和53年獣医)



今、大学は平成23年10月8日の創立70周年記念式典に向けて、準備に余念がありません。同窓の皆さんには、是非、これを機会に本学をご訪問頂き、成長を続ける畜大をご覧いただきたいと思っております。

昨年、政権が交代し、子供手当や高校無償化などの新しい制度が導入されました。マニフェストによると、小学校、中学校、高校、そして平成22年度は「大学の年」ということでしたので、大学関係者は、法人化以降の運営費削減方針が変更になると大いに期待しておりました。が、例にもれず、経済状況の悪化あるいは財源不足という理由で、マニフェストの実行はなりませんでした。それどころか、事業仕分けによって、大学の地域貢献事業や、グローバルCOE、国際協力事業など、本学がその特色を活かして努力し獲得している種々の事業についても、無駄削減の標的とされています。「なぜ、2番ではいけないんですか？」と同様の論調で、「なぜ、大学が地域貢献事業をしなければいけないんですか？」と言われる始末です。学校教育法に、大学は教育、研究と並び、地域貢献を行うことと記載されているのをご存じないようです。

一方で、今年6月に閣議決定された「新成長戦略」では、『「強い人材」の実現が、成長の原動力として未来への投資であることを踏まえ、教育力や研究開発力に関し、世界最高水準を目指し、効果的な施策に対する公的投資を拡充する。』と明記されています。国立大学は、これら新成長戦略に掲げられている、持続可能な成長を担う若年層や知的創造性の育成の欠くべからざる土台ですので、我が国の知の創造拠点および人材育成拠点として、確かな未来を切り開く原動力として、その使命を果たすことが期待されています。

本学の「新成長戦略」は、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を通じて、地域および国際社会に貢献することです。今後とも、社会に高く評価される大学づくりを進めて参りますので、引き続き、同窓生の皆様のご支援ご協力、よろしくお願い申し上げます。

理事（総務担当）に 就任して

理事・副学長
吉田 眞澄



帯広畜産大学教授として帯広に来てから5年半が経過しました。最初の2年間は法律関係の講義を担当する教員として講義を中心とした仕事に携わってきましたが、3年目の途中からは、それに加え、学内弁護士として学内限定で法律相談にも対応してきました。4年が経過した昨年3月末にいったん定年退職しましたが、特任教授として、ほぼ同様の仕事を続けてきました。そして9カ月が経過した今年の1月1日、総務担当理事に就任いたしました。

年齢と言う点では一番の年長者で、どう見てもフレッシュマンとは言えませんが、本学のキャリアでいえば全くの新参者です。人的なしがらみもなければ先入観もありません。よい面も悪い面もありますが、その特徴を生かして仕事をする以外に方法はありません。現在が社会の大きな変革期であることを考えると、過去の経験にとらわれることなく現状と対峙し、その延長線上にある未来をしっかりと見据える姿勢が非常に大切だと考えています。このような時代には、経験、特に過去の成功体験が判断を大きく誤らせることもありますから。

考えてみれば、本学は、戦中の軍用馬医療、満州開拓獣医療、戦後の食糧難時代の食料増産、経済成長期以降の食生活の変化への対応、健康志向・安全食品志向への対応など、時代の要請に適切に対応してきました。全般的・概括的に見て、先考の選択は、基本的に間違っていなかったと思います。ただ、その分、本学の教育・研究の組織やシステムは、とどまることなく変遷を遂げてきました。その時々を時代を超えたまとまりに多少の不足があるとすれば、そのことが関係しているかもしれません。

大学には様々な財産がありますが、人が非常に大きな財産であるところに特徴があります。この帯広から、畜大のDNAを身につけて地球上のさまざまな場所に向かい、それぞれの地にしっかりと根を張った卒業生の皆様との連携・協力を更に深め、更に財産価値を高められるよう創意、工夫、努力を重ねたいと考えています。

帯広畜産大学の最近の 教育研究体制について

理事・副学長
金山 紀久



2010年1月1日付で、本学の教育・研究担当の理事・副学長に着任にいたしました。理事に就任する前は、畜産衛生学研究部門の部門長の任にありました。第1期長澤学長体制の後半を役員という立場で学長を支えることになり、大変、身の引き締まる思いで毎日を過ごしております。

帯広畜産大学が国立大学法人となって7年目、第1期の中期目標・中期計画期間を終え、高い評価を得て第2期に入っております。第2期の大学の掲げる理念は、「知の創造と実践によって実学の学風を発展させ、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を通じて、地域および国際社会へ貢献する」ことです。これまで進めてきた「食の安全確保」を中心とした教育研究を、第2期ではさらに発展させていくこととなります。このことは21世紀の基本的価値観といえる持続可能性、循環型の考え方を踏まえた、農場から食卓までの食と農を中心とした教育研究の高度化なくしてありえません。教職員が一体となって取り組んでいく所存です。

また、大学の理念の中には、「恵まれた自然環境を活かしつつ、潤いと活気があり、豊かな人間性を醸成できるような「学びあいのコミュニティ」を創出することを謳っています。今日、いろいろな場面で人間関係の希薄化が問題となっている中、勉学のみならず、豊かな自然から学びあうこと、スポーツや文化サークルにおいて学びあうことなど、多様な学びあいを通じて社会性を涵養するために必要とされる支援を本学の学生支援の基本方針としました。この基本方針に基づいて、学生支援を積極的に進めてまいります。この春にオープンした「かしわプラザ」も学生の学びあいの場として積極的に活用されること目的として建てられました。

平成22年に大学設置基準が改正され、「大学は、当該大学及び学部等の教育上の目的に応じ、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるものとする」とされました。これまでも大なり小なり就職に係る教育をしてきましたが、明示的に教育することが求められることになったのです。学生の就職力向上のための教育の充実について、同窓生の皆様のご協力をお願いすることもあると思いますが、何卒よろしく願います。

地域貢献推進体制については、この春、産学官連携活動を推進する「地域共同研究センター」と社会貢献活動を推進する「地域貢献推進室」を再編統合し、「地域連携推進センター」を設置いたしました。本学の地域貢献の窓口を一本化することにより、ワンストップサービスの体制が確立し、地域貢献の推進がさらに進むものと期待されています。

以上、私の所掌する本学の教育研究体制について簡単ですが現状を述べさせていただきました。本学の発展のため与えられた理事の職務をしっかりと果たしてまいりたいと心しているところです。今後とも同窓会の皆様の温かいご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



久保嘉治 元帯広畜産
大学長が瑞宝重光章を
受章

地域環境学研究部門
農業経済学分野教授

樋口 昭 則
(昭和46年酪農)

元帯広畜産大学長の久保嘉治名誉教授は、平成22年秋の叙勲で、教育研究功勞により「瑞宝重光章」を受章されました。11月5日に宮中に参内して、天皇陛下に拝謁を賜る榮に浴されます。この度の受章は、久保先生個人はもとより、帯広畜産大学および同窓生にとりまして大きな榮譽であります。

久保先生は、北大の博士課程単位取得後の昭和37年に帯広畜産大学の教務職員となり、39年には米マサチューセッツ大に留学、40年に助教授、52年から教授、平成8年から1期4年学長を務め、退職後は酪農総合研究所の所長として活躍されました。本学では、工藤元教授の後を継いで酪農経営研究室の教授となり、コンピュータを用いた経営分析や経営計画、地域分析などにより、酪農経営の発展や地域農業の振興に大きな貢献をされました。

また、大学運営では計算センター主任としてコンピュータ整備に進めるとともに、学生部長や図書館長を務め、博士を授与できる岩手連大への参加にも尽力しました。学長としては、獣医学教育の分離移転が議論される中で学内融和に努めるとともに、教養課程の廃止や3年次編入制度の導入など、大学の発展に大きく貢献しました。

久保先生は、ユーモアには欠けませんが大変まじめなお人柄で、小声でゆっくりと話をされ、そのまま論文になるような話し方で、多くの人に信頼されていました。そのため、研究室には留学生も含め、多くの学生

が集まり、吹き溜まりと揶揄するむきもありましたが、多くの有為な人材を輩出しています。このような先生が叙勲されたことは、誠にめでたく、うれしいことであります。

なお、久保先生の受章祝賀会は、12月18日(土)午後3時より札幌のホテルモントレエーデルホフで開かれる予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。参加申込は、12月3日までに樋口 tel 0155-49-5436 Fax 0155-49-5435 mail:higuchi@obihiro.ac.jp へ、よろしく申し上げます。

70周年記念事業の経緯と募金のお願い

同窓会事務局長

辻 修
(昭和53年工学)

帯広畜産大学創立70周年記念事業の取り組みとして、仮称「同窓会館」設立のお願いは、本年7月皆様のお手元にお配りし、多くの同窓生に募金をいただき、現在のところ会計報告にあるように、9月30日現在において583件、約680万円の募金が集まっております。

しかし、この「同窓会館」設立に至る経緯は、募金協力の依頼文では充分ではなく、会員の皆様からのご質問もいただきました。そこで、この会報において、ここに至る経緯とまだ、目標金額にほど遠い募金額に対しての再度のお願いをするものであります。

70周年記念事業の経緯としては、まず平成21年8月8日(平成20年度帯広畜産大学同窓会代議員会)において、特別会計の中に70周年事業に向けた予算案を設けることが了承されました。その中身としては、70周年に向けた活動費と基金を設け、具体の事業については、役員会に付託すると議決をいただきました。この結果を踏まえ、役員会は同年12月に学長、理事を交えて70周年事業についての意見交換を行いました。この会談の中で、大学側から今回の記念式典、記念講演会、祝賀会および記念誌については大学予算で賄うとの報告を受けました。これを受け同窓会役員会としては記念事業として同窓会館の建設、大学現有の女子寮の交流会館への改築等の記念事業の提案を行い、同窓会役員会の中で決定していくことが確認されました。そして各案に対する予算等が現実可能かどうかの検討に入り、平成22年5月8日の臨時役員会において、70周年記念事業としては、同窓会として仮称「同窓会館」を同窓生に3,000万円を目標とした募金をつのり、平成23年10月8日の記念式典時において、完成譲渡式を行うことを決定しました。

これらの経緯を経て、平成22年7月上旬に、全同窓生に対し募金協力をお願い文を発送した次第です。

同窓会館の着工は、2013年5月の連休明け、完成は

9月下旬を予定しています。そして大学に寄贈後は、管理運営を大学にお願いし、同窓会は維持管理費を負担しないことを学長から確約いただいております。また、会館完成後には、同窓会としては同窓会事務局を会館内に移転し、同窓生の便宜を図り、大学としては、教職員、学生、市民などの交流の場の一つとして活用される予定であります。

このような経緯で募金活動を行っておりますので、再度、同窓生各位の力強いご支援を賜りますようお願いいたします。

なお、この会報に再度、70周年記念事業への振込用紙を同封させていただきましたので、募金にご協力いただける方は、よろしくようお願いいたします。また、すでに募金をいただいた方には二重の依頼となってしまう失礼をお許しください。

また、会員の皆様で、会社からの募金にご協力いただける方は、別途、趣意書を準備いたしておりますので、同窓会事務局までご連絡いただければ幸いです。

記

1. 同窓会募金目標額 3千万円
2. 同窓会会員の募金協力額
1口5,000円ですが、できれば2口以上のご協力をお願いいたします。
3. 振込用紙の『払込人住所氏名・通信欄』には、卒業年次・学科・氏名等をご記入下さい。
4. 振込期間 平成22年7月1日より平成23年7月31日といたします。

70周年記念事業「(仮称)同窓会館」の名称募集について

同窓会では、70周年の記念事業である「(仮称)同窓会館」に帯広畜産大学にふさわしい会館名を募集しています。この会館は、旧女子寮の南側、乙女の森の中に、景観に考慮した角ログハウスの平屋と建て、完成後は同窓生、学生、教職員の集える場として活用される予定です。会員皆様のふるっての応募をお待ちしています。

応募期間

平成22年12月1日から平成23年7月31日

募集方法

官製はがきまたはFAX、E-mail でお願います。あて先・問い合わせ先は、同窓会事務局(14P)です。名称案、応募者の卒年、学科、氏名、住所を記入の上郵送(送信)してください。

当選者特典

応募された名称案を参考に正式名称を決定し、平成23年10月8日に公表します。なお、決定した名称を

募られた方1名を創立70周年記念事業にお招きし、大学への譲渡式およびテープカットに出席していただきます(多数の場合は抽選・国内旅費、宿泊費を上限とする)。



札幌支部総会

札幌同窓会支部長

田村 誠朗

(昭和39年獣医)



21年11月、二年に一度の支部総会を札幌市内のホテルで開催し、出席者一同旧交を温めると共に、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

長澤学長にはご多忙中にもかかわらず御参席頂き、母校を取り巻く諸問題、創立70周年記念事業などに付きましてお話を頂きましたことに感謝を申し上げます。

開催に際し毎回頭を悩ませるのは、資金不足による案内状の発送経費で、全会員へ案内状を発送することは夢物語でしたが、今回は、「開催案内に係わる経費を本部負担に」との度重なる要望を真摯に受け止めて頂き、管内全会員へ本部経費で、案内状印刷と発送をして頂きましたことを厚く御礼申し上げます。残念ながら出席者は予測を大幅に下回り90名(過去総会は、5~600名発送で70名前後)でした。

発送に係わる結果は{()内は発送数に対する%}、
発送数1881名 回答712名(37.8%) 無回答1064名(56.6%) 転居先不明による返送105名(5.6%)。回答者の内訳は、出席通知 90名(4.8%)、欠席通知613名(32.6%)、ご逝去通知9名(0.5%)でした。

この数字をどのように理解するかは各会員のご自由ですが、私としては半数以上の会員が支部同窓会に対して無関心なのだと感じ取ると共に、同窓会への関心者・出席者を一人でも多くする解決策を見いだすことが喫緊の課題であると思われ知らせられました。今後の支部役員会で、総会開催間隔、開催時期・曜日・時間帯、出席が少ない女性会員並びに若い年齢帯会員への出席勧誘方法と、魅力ある同窓会催事内容などの検討を改めて行いたいと思いますが、最大の問題点は毎年1900名を越すであろう、全会員への案内状発送経費捻出方法で、毎回のよう、出席者に相応の経費負担を強要する方法(当日会費に上積)は限界に達しており、解決策を見出すのは至難の業と思われませんが、日々地道な努力を重ねて行くことにします。

上川支部の近況報告

上川支部長
中村 忠雄
(昭和40年総農)



長い間、休眠状態にあった上川支部同窓会は平成18年に役員を若返らせて、石橋副学長の出席を頂き、50名の同窓生が出席する中で再スタート致しました。

3年後の平成21年に樋口教授を迎えて2回目の同窓会を開催し、寮歌や逍遙歌を高唱し青春時代にかえり楽しい一刻を過ごし、更に樋口先生を囲んでの二次会は大変もりあがりました。

過日は、役員会で同窓会館建設の件が話題となり同窓生には声掛けはしてきたところではありますが、会としても何がしかの協力をしようということになり、細やかですが10万円を寄付することを決めました。

上川支部は、北海道の上川管内を一円として、約270名の同窓生がおり、それぞれ各分野で頑張っております。今回は自治体職員としてブドウ酒造りに情熱を燃やしている亀渕雅彦氏を紹介致します。以下 同氏から寄せられた文章を掲載させていただきます。

ぶどう果樹研究所

富良野市経済部・ぶどう果樹研究所
業務製造課長
亀渕 雅彦
(昭和60年農化)

例年にない猛暑となり、秋も遅かった2010年でしたが、9月に入り一気に気温も下がり秋めいて来たこの頃ですが、帯畜大OBの皆様はご健勝で、そして各地でご活躍されていることを大変嬉しく思います。

私は卒業し、早25年の歳月を迎えます。富良野市役所に奉職し、ぶどう果樹研究所(ふらのワイン)の醸造技術職として配属になり、その後、本庁経済部農政課、さらには総務部企画振興課を回り、4年前に古巣であるぶどう果樹研究所へ戻り、現在に至っております。

昨今の酒類を取り巻く環境は、経済の停滞及び所得の減少、さらには少子高齢化、若者の酒類離れ等から厳しい状況が続いております。

しかし、自治体直営企業とはいえ、そこに甘んじては居られません。大手企業にはできないこと、さらには富良野のテロワール(気候風土)を生かしたぶどう栽培、そして、ワインづくりを取り組むことにより他社との差別化を図り、生き残る道を模索しているところです。

幸い、設立より38年、品質の向上を初めとする技術の進歩、さらに観光地富良野として年間200万人の観光客の訪れ地に存在すること等から事業として何とか継続発展ができています。

今後も、消費者ニーズを探りながら、良いワインを造り続けていきたいと思っております。

オホーツク支部の近況

オホーツク支部長
堀 次郎
(昭和42年獣医)



オホーツク支部は今から8年前になりますが、以前からこの地域においては帯広畜産大学の卒業生も多く、同窓会の設立を望む声がありました。当時、東藻琴村長小島忠和氏(昭32酪)と北見市役所を退職後北海道東モコト食肉衛生検査所に勤務しておられた坂井清治氏(昭33獣)そして、佐呂間町長をしておりました堀次郎(昭42獣)が発起人となり、坂井先輩が中心になって、大学の同窓会名簿や管内の市町村を始めあらゆる職場に問い合わせをしていただき300名近い同窓生の存在を確認し、名簿の作成までしていただきました。

そのような努力の結果、平成15年9月6日に母校から鈴木学長並びに高田同窓会会長のご出席をいただき、無事、帯広畜産大学同窓会オホーツク支部の設立総会が開催されました。

支部長には設立に際し大変ご尽力を頂いた坂井先輩に引き受けてもらいました。会の目的は『会員相互の連携と親睦、並びに帯広畜産大学の発展に寄与する事』とし、総会は隔年に開催する事といたしました。

その後は、坂井支部長の下で隔年ごとの総会が実施され、その都度、学長並びに同窓会会長には遠くから足を運んでいただき、集まった会員との親睦に花を添えていただきました。なお、昨年の総会において私が坂井先輩の後任として支部長をさせて頂いております。

オホーツク管内には約300人余りの会員がおり、それぞれの市町村で親睦的な同窓会が行われている所もあります。我が町佐呂間町におきましては、昭和60年12月14日に14名の会員で同窓会佐呂間支部を設立し、年1~2度の親睦会的な集まりを持っておりました。途中、空白的な期間もありましたが、今年の8月、久しぶりに復活させたところ、非常に盛り上がりました。

これは、明年、帯広畜産大学開学70周年記念の年に予定されているオホーツク支部の総会を佐呂間町で開催し、伝統ある畜大のジンギスカンパーティをするためのデモンストレーションでもありましたが、大成功でした。

来年の支部総会には是非とも、長澤学長並びに太田同窓会会長のご臨席を強く希望しているところであります。

池北線支部について (本別町・足寄町・陸別町)

支部長
樋口 脩
(昭和41年獣医)



今年、2月26日に支部恒例の新年会を陸別町にて開催を計画中に、辻事務局長より「是非出席したい」旨とのこと、「長澤学長も都合がつけば」との連絡があり、厳寒の陸別町にて、会始まって以来、学長を囲んでの懇親の宴を催すことができました。

さて、この会の発足であります。私自身が昭和41年に入会しましたのでよく分からないのですが、当時の会長さんは、和田先輩(昭和19年、獣医)以下・中島(昭和20年獣医)・細川(昭和24年農芸化学)・戸井(農学科昭和26年)の諸先輩(いづれの方も故人となりました)のお話などから今より50年以上前だと思えます。

毎年、1月または2月に新年会と称し、酒を酌み交わし大学青春時代のエピソードや、酔うほどに恩師の悪口雑言など飛び交う程打ち解けた雰囲気となり、最後に逍遙歌にて一次会を終了します。

来年、平成23年に大学創立70周年を迎えることとなり、誠におめでとうございます。母校の発展を念じ報告いたします。

「十勝農試に勤務して」

芽室支部会員
地方独立行政法人
十勝農業試験場場長
花岡 正博
(昭和52年年草地)



十勝農試に勤務して1年半が過ぎた。毎朝、日高山脈を見ながら十勝平野の真ん中を通勤で走っている。空は青いし、空気も水もうまい。

芽室町は帯広市の西側に隣接している人口19,408人(22年9月末住民基本台帳)の町である。基幹産業の農業と関連産業の食品加工業などがあり、その代表格が耕種関連では日本甜菜製糖芽室工場である。工場の規模は東洋一で年間およそ110万トンのビートから約18万トンの砂糖を作っている。二番手は畜産加工の分野で、

2008年5月に操業開始した明治乳業十勝工場があり、年間の生乳処理量は約20万トンと国内最大級のチーズ工場である。このほか缶詰工場や冷蔵倉庫業などがしっかり営業している。

農業生産部門ではスイートコーンが日本一の作付面積を誇っているほか、ゴボウは北海道一の作付けとなっている。麦類、豆類、てん菜、馬鈴しょを基幹に肉牛部門も健闘している。こうした農畜産物の取扱額も十勝管内の農協では第2位の金額を誇っている。

ここ芽室町でも畜大の同窓生が農業を基幹として関連産業の中で活躍されている。獣医師で開業している方、企業や農協・役場に勤務している方、農業経営をされている方など多くのOB・OGの方々が居る。

115年の歴史を持ち、数々の品種や新しい技術を世に送り出してきた十勝農業試験場は、2010年4月に22の道立試験研究機関とともに地方独立行政法人となった。この試験場でも研究員としてOB・OGが活躍している。

農業を巡る情勢は、国際化の進展や国の制度改革、消費者・実需者ニーズの多様化、加えて試験場の予算や人員の確保にも多くの課題がある。

取り組むべき課題はたくさんあるが、地方独立行政法人となっても地域の農業者の皆さん、関係機関・団体、関係企業の皆様のご協力とご支援をいただきながら、試験研究の推進にしっかりと取り組んでいきたいと考えているので、今後とも十勝農業試験場をよろしくお願ひし、近況のご報告とする。

新潟県支部の近況

新潟県支部事務局

佐藤 将典
(昭和46年獣医)

新潟県支部では、おおむね2年ごとに同窓会を開催しています。今年も去る6月12日、県内在住の卒業生13名の出席を得て、新潟市内で同窓会を開催しました。当日は、冒頭に帯広畜産大学の大学紹介ビデオ(DVD)の「食を支え、暮らしを守る」を鑑賞しました。その中で、母校畜大が、著しく変貌し、施設等も充実され、発展しつつある最近の様子を垣間見ることができました。当県支部の同窓会では、総会という形式はとらず、事務的な連絡・打ち合わせのみで、会員それぞれの近況報告や学生時代の帯広・十勝の思い出などを語り合い、相互の親睦を深めることが主となっています。

なお、今回の同窓会でも役員改選を提案しましたが、支部長に伊藤道秋さん(S38総農)、副支部長に不二崎順二さん(S49獣医)と結局留任となりました。

6/12出席者(敬称略): 荒川治男(S36獣医)、五郎谷克二(S38獣医)、楠原征治(S40獣医)、石田秀

史 (S53獣医)、大村正史 (S56化学)、佐藤克之 (S56工学)、小林昌行 (S57生産)、遠山潤 (S61獣医)、福岡米蔵 (H 6 管理)、里麻啓 (H 9 獣医)、正副支部長 (伊藤、不二崎)、事務局 (佐藤)

また、支部の最近の明るい話題として、新潟市西蒲区で有フジタファームを経営している藤田毅さん (S54酪農) が、今年3月に「日本農業賞」(個別経営の部)の大賞を授賞されたことです。藤田さんは、新潟平野の水田地帯で酪農を営み、こだわりの酪農と乳製品(ジェラート)加工販売に加え、米生産組織と連携・推進している自給飼料生産や、堆肥還元の利用など、新しい形の地域循環型の多角的経営への展開が評価されました。

最後に、来年10月の創立70周年の記念行事には、都合をつけ是非出席したいと思っています。

関東同窓会の最近の活動

帯広畜産大学関東同窓会会長
森田邦雄
(昭和41年獣医)



今年の夏は全国的に暑い日が続きました。関東においても35℃を越す猛暑日が続き、このまま秋は来ないのではないかと思われましたが、季節は正直なもので、10月に入り、朝晩は寒さを感じるようになりました。

関東同窓会、本年度(22年度)の総会は6月19日土曜日、18時から例年会場としているライオン銀座クラシックホールにおいて開催されました。51名の会員の参加をいただき、来賓として、大学から長澤秀行学長及び山口紀代志事務局長、大学同窓会から太田助会長及び辻修事務局長のご出席をいただきました。

総会は、加藤喜一幹事長(42酪農)の司会のもと、会長挨拶ののち議長に会長及び萬場光一常任幹事(41年獣医)を選任し議事の審議に入り、平成21年度事業報告、決算、平成22年度事業計画、予算について細川修総務担当常任幹事(48年獣医)、及び安達英史会計担当常任幹事(平成8年資源)から説明があり、平成21年度監査報告が伊藤馨(31獣医)及び中林哲男(38総農)両監事からなされ、提案通り承認、その後、役員改選がありました。役員はほとんどが留任となりましたが、新たに、常任幹事として田中成幸(平成6獣医)及び喜来望(平成7環科)の両氏が選任され、永江巖副会長(23化専)の閉会挨拶により滞りなく終了しました。

その後、懇親会が各務俊彦副会長(35酪農)の開会挨拶により開催され、来賓の長澤学長、太田同窓会長及び辻事務局長からご挨拶をいただき、亀谷勉顧問(25

年獣医)の乾杯あいさつにより懇親に入りました。懇親の場では本間正義東大大学院教授(49酪農)が、北海道新聞の「私の十勝」に取り上げられたことなど紹介され、和やかな話と、銀座ライオン恒例のコーラス隊による歌声など楽しい時間を過ごし、最後に、渡部憲嗣副会長(32獣医)による閉会の言葉により終了しました。

今回は、担当された方の名前を詳しくお知らせしました。みなさん元気に頑張っているところがお分かりのことと思います。

来年10月には、帯広畜産大学70周年記念事業の開催が予定されており関東同窓会としても多くの会員が参加できるように事業計画を検討していくこととしています。

また、今年度は、大学事務局企画総務部総務課のご配慮により、大学を紹介するパンフレット4種類をお送りいただき、300名以上の会員に配布させていただきました。大学の最近の活動状況を多くの同窓生に知っていただくよい機会になりました。改めてお礼を申し上げます。

三重県支部の近況報告

三重県支部長

白井茂雄
(昭和45年獣医)



故 東原支部長

前任者の東原支部長(S38獣医)が2年前に亡くなり、その後を引き継いで不肖私が支部長を務めることになりました。昨年夏に故東原前支部長を偲んで支部同窓会を開催し、毎年8月に年1回、同窓会を開催することに決まりました。前支部長には30年以上もの長い間お世話になり、感謝の念とともに心よりご冥福をお祈り申し上げます。

当支部は現在約60人の同窓生を数え、卒業学科は色々と勤務先も公務員、民間会社、自営業、教員、動物病院開業など様々です。卒業年次はS18~H21年までと幅広く、特に平成卒が23人と若い方が増えました。参加した先輩の中で南毅正氏(S31獣医)は三重県獣医師会会長を2期務められた後、現在は悠々自適の生活を送られ、関口弘之氏(S39獣医)は津地区獣医師会会長を務める傍ら、三重県小動物臨床のリーダーとして現役で活躍中です。また後輩の副支部長・永田克行氏(S55獣医)は県健康福祉部危機管理室長を務め、新型インフルエンザ対策の責任者として活躍しています。

8月8日に行われた今年の同窓会には本部から田村誠朗副会長にご参加いただき、来年の大学創立70周年事業として同窓会館建設のための募金について、詳しくご説明と協力依頼がありました。また最近の大学の様子を写真ご持参でご説明いただき、しばらく大学を訪れていない会員からはその変貌ぶりに驚きの声が上がりました。支部の参加者が10名と少く残念でしたが、充実した楽しい同窓会となり、参加者全員に畜大グッズ（大学の英字名入りマフラータオル）が配られ好評でした。

最後に、母校・帯広畜産大学ならびに同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げます。



三重県支部懇親会（2010/8/8）

大阪支部より2010年度の活動概況 「いたって陽気に楽しんでます。」

大阪支部事務局長

藤 崎 泰 造

（平成元年環境）

●初夏の服部緑地公園でジギスカンコンパ！見上げた空に十勝の雲？

同窓会大阪支部では暮れの総会兼忘年会と初夏の屋外コンパが定例化しつつあります。本年も6月に豊中市にある服部緑地公園にてジギスカンコンパが催されました。近くにはタレント知事さんが住む高級マンションもある閑静なエリアです。大きな森の公園にはそれは気持ちの良い風が流れていました。

さあ、コンパ！老若男女が手に酒持って朝からぞくぞく大集合！楽しい懐かしい顔が集います。いいですねーホワイトトリカーじゃないですよ！酒が違う酒が！肉も違う、違う。大人っていいですね～。でも、BBQコンロはみんなで手作りDIYです。なんでも工夫して乗り越えた学生時代を忘れずに！

みんなご機嫌で、どんどんどんどん酒が進みます！初めて会ったその日から、まったく違和感なく飲める

のですね。さすが根っこは同じ畜大生。

ブルーシートにごろり寝転び見上げる空は、十勝と同じ真っ青な空。あれっ？誰かいらないような……ま、いいか。

●大阪人で畜大OBならば……

ところで、とかく大阪は個性が重んじられるお土地柄。「前へ習え」なんて教育は「けっ！」てえなもんで、「なんで自分の思てること言わんの！」と体制よりも個性を育むことに熱心です。大人になって赤信号を自己責任で渡っても不思議じゃないですね。

大阪在住18年、碧雲寮時代になぜ大阪人って！こんな人ばかり……とその我儘ぶりにあきれ返ったものですが、つくづくとわかってまいりました。

変が普通。おかしくって当たり前。生物多様性会議は大阪でこそ開催されるべきだったのでは？

そんな大阪人×畜大OBの集いだから……仕方ないのです。誰も怒りません。

風 薫る初夏の公園の茂みでこっそり違うモン香らせても、足腰立たずに公園の通路に寝転んで動けなくなっても、意識不明で所在不明帰宅が翌朝で何も覚えていなくても、後輩に背負われて帰った家がよそのお宅でも……

年に1度か2度、他人様と家族にはちょっと迷惑かもしれないけれど、

さ、大阪支部の皆さん！次は、大忘年会！またまたはじけましょう！あこのころのように。

島根県支部近況報告



島根県支部事務局

川 津 章 弘

（昭和60年家畜生産）

今年は、畜産業界を震撼させる口蹄疫が宮崎県で発生し、終息宣言まで4ヶ月余りを要しました。畜大同窓会会員の皆様の中にも愛畜を犠牲にし、あるいは、全国各地から駆けつけ、昼夜を問わず防疫対策に従事された方々も多数おいでになることと思います。特に被害のあった会員の皆様には心中を御察しし、一日も早い再生、復興を祈念申し上げます。

さて、支部の近況についてですが、島根県支部は、昭和22年卒の大先輩から新進気鋭の平成14年卒まで幅広い同窓生、わずか18名と少数ながら毎年1回の総会を開催し、親交を深めております。

また、中国地区の隣県3県（鳥取、島根、広島）で隔年持ち回りの合同同窓会を開催しておりますが、今回は本県が当番となり、昨年10月に開催いたしました。

前回第16号の同窓会報に岡山支部の影山要支部長から御報告があったとおり、岡山支部の発足に伴い、この度の合同同窓会は中国5県に呼びかけて、中国地区合同同窓会と銘打っての開催となりました。

残念ながら岡山県からの参加は実現しませんでした。山口県からは初めて御参加いただき、4県から16名、昭和23年卒から平成20年卒まで、老若男女さまざまな同窓生の珍道中となりました。同窓会は出雲湖陵温泉で開催し、翌日はあいにくの雨模様でしたが、大田市鳥井町の「宮脇富初代学長顕彰碑（2004年5月地元有志、大田ロータリークラブ、畜大同窓会三団体共

同事業として建立）」で博士の功績を偲び、世界遺産登録された「石見銀山遺跡」を訪れ、一般公開限定の大久保間歩ツアーに参加したメンバーもありました。

中国地区から北の大地北海道に野心を胸に渡った畜大同窓生が、年代は異なれど青春時代を顧み、語り、有意義な一時を過ごすことができました。次回開催は広島県となりますが、中国5県から同窓生が集い名実ともに中国地区合同同窓会となるよう願っております。

終わりに、帯広畜産大学並びに帯広畜産大学同窓会の益々のご発展を祈念申し上げ、支部近況報告といたします。

会 員 だ よ り

帯広畜産大学獣医学科昭和41年卒業 大クラス会一同

樋 口 修
(昭和41年獣医)

今年はこの北海道でも、異常気象なのでしょうか猛暑が続き、牛など熱中症等にて斃死、また、ビートなども、かなりの減収が予想されております。

さて、我々大クラス会一同は昭和38年に入学し、昭和41年に37名が卒業しました。当時、山際学長をはじめ三須・瀧名・上田・田村・小西・中村・三宅・清水・西先生と錚錚（そうそう）たる教授陣でありました。2年目のころになって、追試験の人数が多い教科のときに、ある先生が「大学はじまって以来の出来の悪い学生だ」とおっしゃいました。その後のクラス会で私

どもの参加をみて、「君たちのような強い絆は今まで見たことがない」と、この「クラス会員一同」は卒業後、さまざまな分野で活躍をし、そして、年に1度の大クラス会を開催して、酒を酌み交わし昔の学生時代に帰り、朝方まで歓談するのが常となっております。

平成18年には卒後40周年記念の大クラス会（帯広市）を挙行し、以降、平成19年は岩手県盛岡市（Y君・N君）（括弧内は幹事）、平成20年は帯広市（I君・H君・T君）、21年は山梨県富士吉田市（I君・H君）今年是小樽市朝里（Y君他4名）といずれのクラス会も出席率は85%から90%と、大学時代の授業の出席率以上と恩師たちにも賞賛されております。

来年は大学創立70周年を迎えることとなります。心より「獣医学科昭和41卒業大クラス会」からお祝い申し上げます。また、記念事業の寄付等についても、快諾され、ささやかですが、同窓会本部に持参いたしました。

来年のクラス会は、創立70周年事業にあわせて開催を、立案計画中です。

以 上



写真に「頑張れ小林！」とあるのは、昨年富士吉田市開催に身体が不自由にもかかわらず、奥様と出席されましたが、今年一月再び倒れたとのことで、彼が早く回復されるようにと、全員のおもいです。

訃 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。〔敬称略〕

| | | |
|--------------------|--------------------|----------------|
| 青谷 行雄 (S18高 獣 獣 医) | 天城 英明 (S23農専・農芸) | 山口 富郎 (S35酪 農) |
| 井上 定幸 (S18高 獣 獣 医) | 吉見 晃一 (S24獣 医 畜 産) | 懸田 護 (S35酪 農) |
| 大滝 豊 (S18高 獣 獣 医) | 大松 昭次 (S24獣 医 畜 産) | 村尾 齋 (S36総 農) |
| 平山 隆久 (S18高 獣 獣 医) | 山本 暎一 (S25農専・酪農) | 岩村 俊春 (S37別 科) |
| 市橋 正吉 (S19獣 医 畜 産) | 影山 要 (S25農専・酪農) | 高野 拓治 (S38獣 医) |
| 山本 学 (S19獣 医 畜 産) | 奥野 太慶 (S25農専・農芸) | 山口 宏 (S38総 農) |
| 竹田 正雄 (S19獣 医 畜 産) | 葭内 善四郎 (S25農専・農学) | 増島 章央 (S39別 科) |
| 西村 忠彦 (S20獣 医 畜 産) | 山西 隆 (S26農専・酪農) | 小西 俊夫 (S41酪 農) |
| 大沼 良和 (S20獣 医 畜 産) | 平岩 康男 (S26農専・農学) | 藤木 幹生 (S42工 学) |
| 中城 啓一 (S20獣 医 畜 産) | 田邊 豊吉 (S30酪 農) | 志村 正幸 (S47別 科) |
| 佐々木 諭 (S22獣 医 畜 産) | 藤倉 満 (S30総 農) | 松橋 利明 (S47別 科) |
| 谷上 久夫 (S22獣 医 畜 産) | 澤井 正明 (S30酪 農) | 山田 英清 (S53獣 医) |
| 田尾 春一 (S22獣 医 畜 産) | 吉田 孝 (S31総 農) | 品田 祥男 (S53農 化) |
| 信田 幸造 (S22獣 医 畜 産) | 千葉 滋 (S32獣 医) | 堀田 和貞 (S53環 境) |
| 寺本 賢 (S22獣 医 畜 産) | 谷口 勇 (S33酪 農) | 小池 克己 (S55獣 医) |
| 多田 政明 (S22獣 医 畜 産) | 土田 弘文 (S34獣 医) | 真壁 文男 (S57酪 農) |
| 乗本 吉郎 (S22獣 医 畜 産) | 村瀬 行雄 (S34獣 医) | 宿田 征幸 (S60別 科) |
| 菅野 弘 (S23獣 医 畜 産) | 岩田 武 (S34総 農) | 小林 美子 (H13生 資) |
| 西村 正 (S23農専・農芸) | 福迫 洋治 (S34総 農) | 安藤 圭子 (H16環 境) |

※2009年から2010年現在までに、本部事務局にご連絡をいただきました。

事 務 局 だ よ り

帯広畜産大学創立70周年記念式典予定 現時点での決定事項をお知らせします。

- ・開催日 平成23年10月8日(土曜日)
- ・場 所 帯広畜産大学
- ・タイムテーブル
 - 午前中 同窓十勝会例会
同窓会総会
 - 午後 記念式典(講堂)
祝賀会(かしわプラザ前庭)
 - 終了 午後5時予定

となっています。各時間帯については、現在、協議中
です。

平成21年度帯広畜産大学同窓会 総会議事録

開催日時 平成21年10月17日(土) 午前11時00分から
場 所 十勝農協連ビル5階 大会議室

1. 議 事

- 1) 役員改選について
事務局長から次期同窓会役員の改選について説明があり、了承された。
- 2) 創立70周年記念事業について
事務局長から本事業の企画委員会が設けられたとの報告があり、本事業に関する意見を広く会員に募集する旨の説明があった。また、本事業の開催日程が平成23年10月の予定であることが報告された。
- 3) その他
近年同窓会会員の住所不明者の増加が顕著であることから、同窓会の組織運営のあり方について会長から代議員会で話し合っしてほしい旨の提案があり、了承された。

2. 報告事項

- 1) 平成20年度事業報告
事務局長より平成20年度に行われた事業の報告がされ、名簿は総会の開催に合わせて発行することが報告された。次回は平成23年度に発行。
- 2) 平成20年度会計ならびに監査報告
会計係より平成20年度会計、監査係から監査結果の報告があり、一部文言などの指摘はあったものの、了承された。

- 3) 平成21年度事業報告
事務局長より平成21年度事業計画の報告がされ、了承された。
- 4) 平成21年度会計予算案
会計係より平成21年度会計計画の報告があり、了承された。
- 5) 別科50周年事業
樋口副会長から別科の50周年事業について説明があった。

以 上

平成21年度帯広畜産大学同窓会 第1回役員会議事録

出席者 7名
委任状 14通
開催日時 平成21年12月4日(金) 午後5時より
場 所 レストラン煉瓦亭
議 題

1. 平成21年度事業計画について
創立70周年事業を中心に活動することを決定した。
2. 大学創立70周年記念事業にむけて
大学と協力して70周年事業を執り行うことを決定した。

以 上

追 記

役員会終了後、大学側（学長および両理事）と懇談を行った。この中で、大学として創立70周年記念事業を行うことが報告された。内容としては、記念式典、記念講演、祝賀会、記念誌の発行であり、これを受けて同窓会役員会としては、同窓会館の建設、現女子寮の改築などから記念事業としてふさわしい事業の選定を行い、取り組むこととした。

平成21年度帯広畜産大学同窓会 臨時役員会議事録

出席者 14名
委任状 8通
開催日時 平成22年5月8日(土)
午後3時から午後5時
場 所 帯広畜産大学学生プラザ（旧学生会館）
2階マルチルーム2
議 事

70周年記念事業について

70周年記念事業は、帯広畜産大学と帯広畜産大学同窓会の共催で実施する。

1. 70周年記念事業開催日程について
「平成23年10月9日(土)」に開催する案について、

日程を決定した。

午前に同窓会総会を実施し、午後に記念式典、講演会、祝賀会を開催する予定である。

2. 交流会館建設について
同窓会の会館である同窓会館（仮）を70周年記念事業までに募金集めをし、会館を建て、大学に寄付行為を行う案について決定した。
募金の目標予定は3000万円とする。そのための趣意書、募金案内、振替用紙など準備でき次第発送し、平成23年度8月末をめどに集めることとする。
3. その他として
慶長の規定内規を作成すること、また支部会への本部役員派遣の回数を増やして70周年同窓会館建設について説明を行うことを了承した。

以 上

平成22年度帯広畜産大学同窓会 代議員会議事録

出席者 22名
委任状 18通
開催日時 平成22年10月30日(土) 午前12時30分から
場 所 帯広畜産大学総合研究棟I号館（旧学部棟）
2階E2503会議室

1. 議 事

- 1) 平成21年度事業報告
事務局長から創立70周年記念事業の進行状況と平成21年度に行われた事業の報告がされ、了承された。
- 2) 平成21年度会計ならびに監査報告
会計係より平成20年度会計、監査係から監査結果の報告があり、一部予算案と異なる決算になった点について会計係より説明があった。また、70周年交流会館基金については監査対象外であり、70周年記念事業終了時に報告されると説明があり、了承された。
- 3) 平成22年度事業計画（案）
事務局長より平成22年度事業計画の報告がされ、了承された。
- 4) 平成22年度会計予算案
事務局長より平成22年度事業計画の報告がされ、了承された。

2. 報告事項

- 1) 帯広畜産大学創立70周年記念事業について
事務局長より創立70周年記念事業で同窓会が交流会館を建設するに至った経緯の説明があり、この経緯については、同窓会便り第17号に掲載するとの報告があった。

以 上

平成21年度 事業報告

- 平成21年10月15日 第3年次編入畜産科学科学合格者(14名)、学士編入学2年次獣医学課程合格者(3名)へ協賛金納入願いを発送
- 10月17日 平成21年度帯広畜産大学同窓会農協連ビルにて総会開催
- 12月4日 第1回役員会開催 議題 1. 平成21年度事業計画 2. 大学創立70周年記念事業にむけて
- 12月17日 推薦入学合格者(70名)、別科推薦入学合格者(20名)、帰国生特別選抜合格者(4名)、社会人特別選抜合格者(3名)へ協賛金納入願いを発送
- 平成22年2月4日 大学院修士課程第2次募集一般選抜合格者(19名)へ協賛金納入願いを発送
- 2月5日 卒業および修了予定者に終身会費納入願いを配布
- 2月8日 2年次編入学・3年次編入学合格協賛金納入者(5名)へ記念品贈呈
- 2月18日 大学院博士後期課程一般選抜合格者(6名)、大学院修士課程・博士前期課程国際協力特別選抜合格者(2名)へ協賛金納入願いを発送
- 2月26日 池北線支部同窓会総会参加(長澤学長、辻事務局長)
- 3月6日 一般選抜前期日程合格者(170名)、別科一般選抜合格者(6名)、私費外国人留学生特別選抜合格者(3名)へ協賛金納入願いを発送
- 3月19日 卒業式会長祝辞
- 3月21日 一般選抜後期日程合格者(60名)へ協賛金納入願いを発送
- 5月8日 臨時役員会 開催 議題:70周年記念事業について 1. 70周年記念開催日程「平成23年10月8日(土)」 2. 交流会館建設について 3. その他
- 5月10日 協賛金納入者(172名)へ記念品贈呈
- 6月19日 関東支部同窓会総会参加(太田会長、辻事務局長)
- 7月5日 「帯広畜産大学創立70周年記念事業募金協力のお願ひ」同窓会員へ発送
- 7月31日 宮城県支部同窓会総会参加(獣医学科 五十嵐郁男教授)

- 8月7日 帯広畜産大学同窓会懇親会開催(畜大生協前で)参加者34名
- 8月8日 三重県支部同窓会総会参加(田村副会長)
- 9月3日 大学院修士課程・博士前期課程合格者(56名)、大学院博士後期課程合格者(7名)へ協賛金納入願いを発送

平成22年度 事業案

- 平成22年10月30日 平成22年度帯広畜産大学同窓会役員会・代議員会開催
- 10月中旬 第3年次編入畜産科学科学合格者、学士編入学2年次獣医学課程合格者へ協賛金納入願いを発送
- 11月6日 釧路支部同窓会総会参加予定(由佐副会長、辻事務局長)
- 11月13日 兵庫県支部同窓会総会参加予定(辻事務局長)
- 11月中旬 同窓会報の発行予定
- 12月初旬 第1回役員会開催
- 12月中旬 推薦入学合格者、別科推薦入学合格者、帰国生特別選抜合格者へ協賛金納入願いを発送
- 平成23年2月初旬 大学院修士課程第2次募集一般選抜合格者へ協賛金納入願いを発送
- 2月初旬 卒業および修了予定者に終身会費納入願いを配布
- 2月初旬 2年次編入学・3年次編入学合格協賛金納入者へ記念品贈呈
- 2月中旬 大学院博士後期課程一般選抜合格者、大学院修士課程・博士前期課程国際協力特別選抜合格者へ協賛金納入願いを発送
- 3月初旬 私費外国人留学生特別選抜合格者、一般選抜前期日程合格者、別科一般選抜合格者へ協賛金納入願いを発送
- 3月中旬 卒業式会長祝辞
- 3月下旬 一般選抜後期日程合格者へ協賛金納入願いを発送
- 5月中旬 協賛金納入者へ記念品贈呈
- 9月上旬 同窓会報の発行予定
- 9月上旬 大学院修士課程一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者、大学院修士課程(平成22年10月入学)一般選抜・社会人特別選抜合格者へ協賛金納入願いを

発送予定
9月下旬 同窓会名簿発行予定
10月8日 同窓会総会開催予定（午前中）
大学創立70周年記念式典、記念講演、祝賀会（午後より）

ご自身の住所・勤務先等に変更があるときも、ご連絡をよろしくお願ひします。
(名簿担当 岸本 正)

同窓会名簿担当からの お願ひとお知らせ

同窓会活動ならびに名簿の編集に当たりましては、いつも御協力いただき有難うございます。同窓会名簿の発行は隔年となっており前回は、平成20年12月に発行しました。

本来であれば今年平成22年が新しい名簿を発行年となりますが、来年帯広畜産大学は創立70周年を迎えこれに合わせて記念事業が予定されておりますので、今年新しい名簿を発行せず、来年の記念事業の時期に合わせて9月に発行する予定です。来年、新しい名簿が発行される際には頒布のご案内をさせていただきます。

名簿の管理は、毎年発行する同窓会報の発送の際に住所変更届を同封し、また、名簿原稿を学内各研究室や名簿委員にチェックしてもらおう等して、訂正作業を行っています。それでも不明者の数は減らず、名簿の巻末にたくさんの不明者一覧を記載しています。

不明者の中に消息をご存じの方がいましたら、いつでも結構ですので、事務局までご連絡下さい。また、

事務局への連絡

同窓会支部活動のお知らせや役員の変更、会員の逝去など同窓会事務局に随時お知らせ下さい。同窓会のホームページへの掲載や支部会員宛のタックシール作りなどをお手伝ひします。

なお、同窓会事務局は、月曜日から金曜日の午前10時から午後4時まで事務職員が直接、電話対応をいたします。それ以外の時間に関してはFAX対応となりますのでよろしくお願ひします。また、緊急な場合などは、下記の事務局員にご連絡下さい。

・事務局電話およびFAX：0155-49-5996

対応事務職員 平方 英代

・緊急時対応電話（0155-49）

辻 事務局長：5510 小嶋庶務担当：5547

嶋田庶務担当：5376 手塚会計担当：5417

岸本名簿担当：5522

・ホームページ

<http://www.obihiro.ac.jp/~dousou/>

・E-mail

dousou@obihiro.ac.jp

・住所

〒080-8555

帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学内

帯広畜産大学同窓会事務局

編集後記

今年は、70周年事業を来年に迎え大変忙しい年の瀬となっています。会員の皆様には、唐突な会館設立の募金願ひで、戸惑いになった方もいらっしゃると思われまふ。その経緯につきましては、今回の会報にて説明いたしましたが、まだまだ不備な点につきましてはお許しください。しかし、行動する役員会ということで、今年度は、池北線支部を皮切りに、関東同窓会、宮城県支部、三重県支部、釧路支部、つい先だつての兵庫県支部と多くの支部総会・懇親会に参加させていただきました。また、本校で

初めてのビールパーティーも開催し、会員相互の親睦と同窓会の発展、そして母校畜大の発展を願った活動を展開してまいりました。70周年が終わってもこれらの活動は、継続していく予定です。また、支部設立のお手伝ひ等もさせていただきますので、気軽に事務局にご連絡ください。ここ帯広も日高の山が真っ白な帽子をかぶる季節となり、カラマツ防風林も黄金の葉を雨のように降らしております。これから一段と寒くなる年の瀬ですが、最後に会員皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

(文責：辻修)

帯広畜産大学同窓会平成20年度会計報告

(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

【通常会計】

収入の部

| 項 目 | H20年度予算 | H20年度決算 | 増 減 | 備 考 |
|--------|------------|------------|---------|--|
| 前年度繰越金 | 10,748,402 | 10,748,402 | 0 | 平成19年度より |
| 名簿販売 | 600,000 | 825,000 | 225,000 | 名簿：3,000円×275冊 |
| 終身会費 | 4,000,000 | 4,100,000 | 100,000 | 20,000円×179（学生協賛会）、20,000円×26（終身会費） |
| 雑収入 | 50,000 | 702,436 | 652,436 | 記念誌9,000円、寄付377,000円、広告料184,000円、利息3,260円、懇親会費64,000円、70周年記念事業へ寄付金65,176円（S53年卒業生より） |
| 合 計 | 15,398,402 | 16,375,838 | 977,436 | |

支出の部

| 項 目 | H20年度予算 | H20年度決算 | 増 減 | 備 考 |
|--------|------------|------------|-------------|---|
| 印刷代 | 3,000,000 | 4,147,487 | 1,147,487 | 名簿印刷800冊、会報誌15号9000部、会報誌16号10100部 |
| 大学後援経費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 後援会300,000円 |
| 通信、郵送料 | 500,000 | 977,915 | 477,915 | 切手・ハガキ代6,970円、電話料金9,313円、郵便料金864,342円、料金受取払い97,290円 |
| 人件費 | 700,000 | 913,790 | 213,790 | H20年8月分～H21年8月分給与（13ヶ月） |
| 事務費 | 100,000 | 109,732 | 9,732 | 事務用品 |
| 会議費 | 100,000 | 68,300 | △ 31,700 | 役員会ほか |
| 交通費 | 100,000 | 158,300 | 58,300 | 役員旅費 |
| 役員手当 | 380,000 | 360,000 | △ 20,000 | 10,000円×18名×2年分 |
| 記念品代 | 0 | 0 | 0 | H18年度に5年分購入 |
| 雑費 | 200,000 | 1,779,610 | 1,579,610 | 払込金55,400円、振込料金3,815円、終身会費重複返金257,000円、慶弔費37,325円、協賛金返金19,580円、名簿廃棄費用5,760円、別科50周年記念事業へ1,000,000円、70周年記念事業活動経費400,730円（東京支部総会参加2名、オホーツク支部総会参加1名、札幌支部総会案内ハガキ、印刷費用） |
| 特別会計へ | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | 1,000,000×3（契約継続時に各銀行へ増資） |
| 予備費 | 7,018,402 | 4,560,704 | △ 2,457,698 | 平成21年度へ繰越 |
| 合 計 | 15,398,402 | 16,375,838 | 977,436 | |

【特別会計】

収入の部

| 項 目 | H20年度予算 | H20年度決算 | 増 減 | 備 考 |
|--------|------------|------------|--------|----------|
| 前年度繰越金 | 20,053,348 | 20,053,348 | 0 | 定期預金 |
| 通常会計から | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | 契約継続時に増資 |
| 雑収入 | | 37,404 | 37,404 | 利息 |
| 合 計 | 23,053,348 | 23,090,752 | 37,404 | 記念事業等積立金 |

支出の部

| 項 目 | H20年度予算 | H20年度決算 | 増 減 | 備 考 |
|-------|---------|---------|-----|-----|
| 通常会計へ | 0 | 0 | 0 | |
| 合 計 | 0 | 0 | 0 | |

平成20年度監査報告（平成20年10月1日～平成21年9月30日）

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成21年10月9日

監 事

柏村文郎



松田清明



帯広畜産大学同窓会平成21年度会計予算案

(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

【通常会計】

収入の部

| 項 目 | H21年度予算 | H20年度決算 | 増 減 | 備 考 |
|--------|-----------|------------|-----------|--------------|
| 前年度繰越金 | 4,560,704 | 10,748,402 | 6,187,698 | 平成20年度より |
| 名簿販売 | 60,000 | 825,000 | 765,000 | 3,000円×20冊 |
| 終身会費 | 4,000,000 | 4,100,000 | 100,000 | 20,000円×200名 |
| 雑収入 | 400,000 | 702,436 | 302,436 | 利子、寄付 |
| 合 計 | 9,020,704 | 16,375,838 | 7,355,134 | |

支出の部

| 項 目 | H21年度予算 | H20年度決算 | 増 減 | 備 考 |
|--------------------|------------------------|------------------------|-----------------------|---------------------|
| 印刷代 | 2,000,000 | 4,147,487 | 2,147,487 | 会報誌17号、他 |
| 大学後援経費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 後援会300,000円 |
| 通信、郵送料 | 500,000 | 977,915 | 477,915 | 受取人払い、役員会等連絡、他 |
| 人件費 | 900,000 | 913,790 | 13,790 | H21年9月分給与～H22年8月分給与 |
| 事務費 | 100,000 | 109,732 | 9,732 | 事務用品 |
| 会議費 | 100,000 | 68,300 | △ 31,700 | 役員会ほか |
| 旅費 | 200,000 | 158,300 | △ 41,700 | 役員旅費 |
| 役員手当 | 190,000 | 360,000 | 170,000 | 10,000円×19名×1年分 |
| 記念品代 | 0 | 0 | 0 | H18年度に5年分購入 |
| 雑費 | 300,000 | 1,779,610 | 1,479,610 | 振込手数料、二重払い返金等 |
| 周年記念事業特別会計へ 予備費 | 3,065,176 1,365,528 | 3,000,000 4,560,704 | △ 65,176 3,195,176 | |
| 合 計 | 9,020,704 | 16,375,838 | 7,355,134 | |

【周年事業特別会計】

収入の部

| 項 目 | H21年度予算 | H20年度決算 | 増 減 | 備 考 |
|--------|------------|------------|-------------|----------------------|
| 前年度繰越金 | 23,090,752 | 20,053,348 | △ 3,037,404 | |
| 通常会計から | 3,065,176 | 3,000,000 | △ 65,176 | S53年卒業生寄付金65,176円を含む |
| 雑収入 | 0 | 37,404 | 37,404 | 利息 |
| 合 計 | 26,155,928 | 23,090,752 | △ 3,065,176 | 記念事業等積立金 |

支出の部

| 項 目 | H21年度予算案 | H20年度決算案 | 増 減 | 備 考 |
|-------------|------------|----------|-------------|--------------------|
| 70周年記念事業基金 | 25,155,928 | 0 | △25,155,928 | |
| 70周年記念事業活動費 | 1,000,000 | 0 | △ 1,000,000 | 各支部への郵送料・印刷費用の援助、他 |
| 合 計 | 26,155,928 | 0 | △26,155,928 | |

帯広畜産大学同窓会平成21年度通常会計決算報告

(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

収入金額 8,955,136円
 支出金額 5,789,970円
 次年度繰越金額 3,165,166円

収入の部

| 項目 | H21年度予算 | H21年度決算 | 増減 | 備考 |
|--------|-----------|-----------|----------|---|
| 前年度繰越金 | 4,560,704 | 4,560,704 | 0 | 前年度繰越金 |
| 名簿販売 | 60,000 | 138,000 | 78,000 | 名簿:3,000×46冊 |
| 終身会費 | 4,000,000 | 3,920,000 | △ 80,000 | 20,000×176(学生協賛金)、20,000×20(終身会費) |
| 雑収入 | 400,000 | 336,432 | △ 63,568 | 寄付131,702、広告料40,000、利息730、 H21年総会懇親会費164,000 |
| 合計 | 9,020,704 | 8,955,136 | △ 65,568 | |

支出の部



| 項目 | H21年度予算 | H20年度決算 | 増減 | 備考 |
|--------------|-----------|-----------|-------------|---|
| 印刷代 | 2,000,000 | 0 | △ 2,000,000 | 会報17号はH22年度へ延期 |
| 大学後援経費 | 300,000 | 0 | △ 300,000 | H22年3月31日解散 |
| 通信・郵送料 | 500,000 | 98,155 | △ 401,845 | 通信・郵送料、料金受取払い |
| 人件費 | 900,000 | 780,310 | △ 119,690 | H21年9月分～H22年8月分給与(12ヶ月) |
| 事務費 | 100,000 | 94,534 | △ 5,466 | 事務用品 |
| 会議費 | 100,000 | 11,600 | △ 88,400 | 役員会ほか |
| 交通費 | 200,000 | 448,440 | 248,440 | 役員旅費97,440、各支部長の総会参加旅費補助費用351,000 |
| 役員手当 | 190,000 | 190,000 | 0 | 10000×19名(1年分) |
| 記念品代 | 0 | 0 | 0 | H18年度に5年分購入済み |
| 雑費 | 300,000 | 531,674 | 231,674 | 慶弔費、終身会費二重払い返金、懇親会、他 |
| 周年事業特別会計へ | 3,065,176 | 3,570,081 | 504,905 | 予算案:3,000,000+65,176(S53寄付) 決算:2,000,000+1,570,081(通常郵貯口座特会移行) |
| 70周年記念交流会館基金 | 0 | 65,176 | 65,176 | S53卒業生寄付金 |
| 予備費 | 1,365,528 | 0 | △ 1,365,528 | |
| 合計 | 9,020,704 | 5,789,970 | △ 3,230,734 | |

平成21年度監査報告(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成22年10月22日

監事

柏村文郎 
 松田清明 

帯広畜産大学同窓会平成22年度通常会計予算 (案)

(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

収入の部

| 項目 | H22年度予算 | H21年度決算 | 増減 | 備考 |
|--------|-----------|-----------|-------------|---------------|
| 前年度繰越金 | 3,165,166 | 4,560,704 | △ 1,395,538 | |
| 名簿販売 | 900,000 | 138,000 | 762,000 | 名簿:3,000×300冊 |
| 終身会費 | 4,000,000 | 3,920,000 | 80,000 | 20,000×200人 |
| 雑収入 | 400,000 | 336,432 | 63,568 | 利息、寄付金 |
| 合計 | 8,465,166 | 8,955,136 | △ 489,970 | |

支出の部

| 項目 | H22年度予算 | H21年度決算 | 増減 | 備考 |
|--------------|-----------|-----------|-------------|-------------------------|
| 印刷 | 4,500,000 | 0 | 4,500,000 | 会報17号・18号発行、H23年名簿発行予定 |
| 通信・郵送料 | 1,000,000 | 98,155 | 901,845 | 通信・郵送料、料金受取払い、会報発送料 |
| 人件費 | 900,000 | 780,310 | 119,690 | H22年9月分～H23年8月分給与(12ヶ月) |
| 事務用品 | 100,000 | 94,534 | 5,466 | 事務用品 |
| 役員会ほか | 100,000 | 11,600 | 88,400 | 役員会ほか |
| 役員旅費 | 200,000 | 448,440 | △ 248,440 | 役員旅費 |
| 役員手当 | 190,000 | 190,000 | 0 | 10000×19名(1年分) |
| 記念品 | 0 | 0 | 0 | H18年度に5年分購入済み |
| 雑費 | 300,000 | 531,674 | △ 231,674 | 慶弔費、終身会費二重払い返金、振込手数料 他 |
| 周年事業特別会計へ | 0 | 3,570,081 | △ 3,570,081 | |
| 70周年記念交流会館基金 | 0 | 65,176 | △ 65,176 | |
| 予備費 | 1,175,166 | 0 | 1,175,166 | |
| 合計 | 8,465,166 | 5,789,970 | 2,675,196 | |

帯広畜産大学同窓会周年事業特別会計 (平成21年度決算報告)

(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

収入金額 26,769,506円
 支出金額 1,456,868円
 次年度繰越金額 25,312,638円

収入の部

| 項目 | H21年度予算 | H21年度決算 | 増減 | 備考 |
|--------|------------|------------|---------|------------------------------------|
| 前年度繰越金 | 23,090,752 | 23,090,752 | 0 | 定期預金 |
| 通常会計から | 3,065,176 | 3,570,081 | 504,905 | 決算:2,000,000+1,570,081(通常郵貯口座特会移行) |
| 雑収入 | 0 | 108,673 | 108,673 | 利息 |
| 合計 | 26,155,928 | 26,769,506 | 613,578 | |

支出の部

| 項目 | H21年度予算 | H21年度決算 | 増減 | 備考 |
|---------------|------------|-----------|--------------|---------------------------|
| 70周年記念交流会館建設費 | 1,000,000 | - | - | |
| 印刷 | 1,237,823 | 1,237,823 | 0 | 70周年記念事業募金協力案内文、同窓会館の建設案内 |
| 通信・郵送料 | 31,690 | 31,690 | 0 | 寄付金礼状、同窓会懇親会案内、他 |
| 広告 | 31,500 | 31,500 | 0 | 新聞広告 |
| 事務費 | 825 | 825 | 0 | ノート、ファイル |
| 旅費・会議費 | 88,060 | 88,060 | 0 | 三重県同窓会旅費・会議費、宮城県同窓会会議費 |
| 雑費 | 66,970 | 66,970 | 0 | 寄付金振込手数料66,340、銀行振込手数料630 |
| 周年事業基金 | 25,155,928 | 0 | △ 25,155,928 | |
| 合計 | 26,155,928 | 1,456,868 | △ 24,699,060 | |

平成21年度監査報告 (平成21年10月1日～平成22年9月30日)

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成22年10月22日

監事 柏村文郎 松田清明

帯広畜産大学同窓会周年事業特別会計（平成22年度予算案）

（平成22年10月1日～平成23年9月30日）

収入の部

| 項 目 | H22年度予算 | H21年度決算 | 増 減 | 備 考 |
|--------|------------|------------|-------------|------|
| 前年度繰越金 | 25,312,638 | 23,090,752 | 2,221,886 | |
| 通常会計から | 0 | 3,570,081 | △ 3,570,081 | |
| 雑収入 | 27,362 | 108,673 | △ 81,311 | 利息、他 |
| 合 計 | 25,340,000 | 26,769,506 | △ 1,429,506 | |

支出の部

| 項 目 | H22年度予算 | H21年度決算 | 増 減 | 備 考 |
|-----------------|------------|-----------|------------|-----|
| 70周年記念交流会館建設活動費 | 1,000,000 | 1,456,868 | － | |
| 70周年記念交流会館基金 | 10,000,000 | 0 | 10,000,000 | |
| 周年事業基金 | 14,340,000 | 0 | 14,340,000 | |
| 合 計 | 25,340,000 | 1,456,868 | 23,883,132 | |

70周年記念交流会館基金

| | |
|----------------------------|------------|
| 21年度（平成22年9月30日までの郵便振込入金額） | 6,210,000円 |
| 21年度（平成22年9月30日までの現金入金金額） | 547,499円 |
| 合 計 額 | 6,757,499円 |
| 21年度（平成22年9月30日までの郵便振込件数） | 574件 |
| 21年度（平成22年9月30日までの現金入金件数） | 9件 |
| 合 計 件 数 | 583件 |

帯広畜産大学同窓会会則

昭和36年7月7日制定
平成5年10月16日改訂
平成9年10月18日改訂
平成11年10月23日改訂
平成13年10月6日改訂
平成19年10月13日改訂

第1章 総 則

- 第1条 本会は帯広畜産大学同窓会と称する。
- 第2条 本会は会員相互の連絡と親睦、並びに帯広畜産大学の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 同窓会報の発行
 2. 同窓会名簿の発行
 3. 帯広畜産大学の後援
 4. その他本会の目的を達成するための必要な事業
- 第4条 本会の事務局は帯広畜産大学内に置く。

第2章 会 員

- 第5条 本会の会員は次の資格を備うるものとする。
1. 帯広畜産大学及びその前身の卒業生
 2. 帯広畜産大学畜産学専攻、大学院畜産学研究科、及び別科修了生
 3. 岐阜大学大学院連合獣医学研究科及び岩手大学大学院連合農学研究科の修了生で本学の講座に所属したものの
 4. その他代議員会で認めたもの
- 第6条 本会は帯広畜産大学及びその前身の同窓会以外の教員を特別会員とする。
- 第7条 会員は住所、その他の異動があった場合は、その都度本会に速やかに通知しなければならない。

第3章 役 員

- 第8条 本会は帯広畜産大学長を名誉会長に推薦する。
- 第9条 本会は次の役員を置く。会長1名、副会長若干名、事務局局長1名、庶務3名、会計3名、名簿編集委員3名及び監事2名。ただし、会長が必要と認めた場合は役員を追加することができる。役員会は前記の役員で構成し、本会の日常的な運営にあたる。本会は役員会の推薦により顧問を置くことができる。
- 第10条 会長及び副会長は代議員会において会員中より選出し、総会の承認を受けるものとする。その他の役員は役員会において会員中より選出し、代議員会の承認を受けるものとする。役員及び代議員の任期は一期二年とし、再選を妨げないが、会長の任期は二期を越えないこととする。
- 第11条 会長は本会を代表し、会務を統理する。副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
- 第12条 事務局局長は庶務と共に会務を担当する。
- 第13条 会計は会費を徴収し、本会の資産管理と予算の適切な執行を担当する。
- 第14条 名簿編集委員は同窓会名簿の発行を担当する。本委員は名簿の編集の円滑化を計るため、名簿編集委員を委嘱することができる。
- 第15条 監事は本会業務の執行及び会計の状況を監査する。
- 第16条 役員会は会長が招集しその議長となる。本会は構成役員

の過半数の出席で成立し、会の議事は出席者の過半数をもってこれを決する。

- 第17条 役員会は支部等から若干名の代議員を委嘱し、重要な会務を審議するために役員と代議員とで構成する代議員会を置く。
- 第18条 代議員会は会長が招集しその議長となる。代議員の3分の2以上の署名により会議の目的事項を示して請求があったときは、会長は代議員会を招集しなければならない。代議員会は構成員の過半数（委任状を含む）で成立し、議事は過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第19条 代議員会は次の事項を審議する。
1. 予算及び決算
 2. 会費の変更
 3. 重要な資産の処分
 4. その他重要な事項

第4章 総 会

- 第20条 総会は通常総会と臨時総会とする。通常総会は原則として隔年で開催するものとする。臨時総会は代議員会において必要と認めるとき、また10分の1以上の会員の署名により会議の目的事項を示して請求があったときはこれを開くこととする。
- 第21条 総会は会長が招集し、その議長は会員中より総会で選出する。
- 第22条 次の事項は通常総会においてその承認を受けるものとする。
1. 会則の変更
 2. 役員人事
 3. 資産目録
- 第23条 総会の議事は出席会員の過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第24条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってこれに充当する。

第5章 資産及び会計

- 第25条 本会の重要な資産を処分するには、代議員会の決議を経て、総会の承認を得なければならない。
- 第26条 会員は終身会費として卒業または修了後速やかに20,000円を納めなければならない。但し、特別会員は会費を免除する。
- 第27条 本会の活動を支援していただく目的で、帯広畜産大学に入学される新入生に同窓会協賛金20,000円の納入をお願いする。この協賛金は卒業あるいは修了時に自動的に終身会費に切り替わるものとする。但し、何らかの事情で途中退学されたときには、本人からの請求があれば返金するものとする。
- 第28条 本会の会計年度は毎年10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

第6章 支 部

- 第29条 本会はその目的を達成するために、必要があるときには支部を設けることができる。
- 第30条 支部を設置しようとするものは、その代表者から本会に届け出なければならない。
- 第31条 支部は支部会において、特別の定めをすることができる。

付 則 この会則は平成19年10月13日から施行する。